



▶▶▶プロフィール

ふくおか・ながまさ

昭和35年生まれ。大学卒業後、東京の生花店で修行し帰郷。数多くのコンテストで受賞経験のある父、綱助氏と共に福岡洋蘭園を經營し、ハウスで数万株の洋ランを栽培。書き入れ時には真夜中過ぎまで作業に追われる。趣味は家族とのキャンプやバーベキュー。  
 ▶「フラワードーム2008」あいち花フェスタフラワーコンテストで、洋らんの部金賞「名古屋市長賞」に選ばれたイオノシジウムの寄せ植え。



瞳を輝かせて  
Brilliant Eyes

皆さんに喜んでもらえる花を作りたい

「フラワードーム2008」あいち花フェスタフラワーコンテストで  
洋らんの部金賞「名古屋市長賞」を受賞

福岡 長正さん(打越)

**花**を付けるまで育てるのに2年から5年もかかる洋ラン。今回は、長年親子で洋ランの栽培に取り組み、今年3月にナゴヤドームで開催された「フラワードーム2008」あいち花フェスタフラワーコンテストにおいて、洋らんの部金賞を受賞した福岡長正さんを紹介します。

「育てるのに時間はかかるけれど、手間を掛けたら掛けた分だけきれいな花が咲くのが良いところなんです」とランを育てる魅力について話す福岡さん。フラワードームのコンテストには毎年応募。ついに今年、金賞を初受賞し、念願だったフラワードーム開会式で表彰されました。さらに福岡さんの父、綱助さんの作品は「フラワードーム

2008」名古屋国際蘭展個別コンテストの最優秀賞「ウィーン・オブ・オーキッズ賞」を受賞。うれしい親子でのダブル受賞となりました。福岡さんがこの仕事に就こうと考え始めたのは高校生のころ。綱助さんの働く姿を見ていて自分もやってみたいと思い、この仕事を選びました。大学を卒業後、東京の生花店で2年間修行した後、三好に帰郷。「父も職人かたぎで、手取り足取り教えてくれるタイプではなかった。見よう見まねで失敗をしながらランの育て方を覚えました」と当時を振り返ります。

原産地が多様で、日本の気候に合わない品種も多い洋ラン。夏には避暑地の山へ苗を移動させる「山上げ」を行います。特に最近では、温暖化による気温上昇で、山上げ作業も今までより高い標高の場所まで移動させる必要が出てきました。また原油高によって冬の暖房費が高騰するなど、手間とコストの面でも、環境の変化にデリケートなランを育てる難しさを実感しています。しかし難しいからこそ仕事のやりがいと魅力はひとしお。「買っていただいた皆さんから、花持ちが良く長い間楽しめたと喜んでいただけるが一番うれしいです。そんな花をこれからも作っていききたいですね」とにっこり。また、インターネット販売も検討していて「遠く離れた所に住んでいるお客さんが、自分のランを見て、ほしうと思ってくれたらうれしいですね」と意欲的です。

「目標は大きく、全国花き品評会洋らん部門での農林水産大臣賞受賞です」と瞳を輝かせる福岡さん。夢をかなえるため、今日もランの花に愛情を注いでいます。

おめでとう  
おたんじょうび  
5月



『髪型はお父さんとお母さん』

おせんべいとお茶が大好きなほろく  
ん。お父さんとおそろいでお気に入りのく  
りくり頭は、お母さんが切ってく  
れるんだって。さんさんバスやトラッ  
クが好きで、大きくなったら運転手さ  
んになりたいというほろくに「強く  
てたくましい子になってね」とお母さ  
ん。

郡司晴彦くん(三好氏)

父・智彦さん 母・恵さん  
平成17年5月5日生



『トランポリンが大好き』

体操教室に通っているゆりちゃん。  
最初は苦手だったトランポリンもたく  
さん練習して、今では大好きになった  
んだよ。洗濯物をたたんだり、食器を  
運んだりしてお手伝いができるようにな  
ったゆりちゃんに「思いやりのある  
優しい子になってね」とお母さん。

寺本百合奈ちゃん(明知上)

父・泰久さん 母・理恵子さん  
平成17年5月10日生



出場者募集

- ▼7月のお誕生日コーナー
- ▼応募期間 6月22日から4日まで
- ▼対象 7月生まれで3歳未満の児
- ▼応募方法 秘書広報課へ電話で☎(32)833517
- ※5月生まれの応募は、10人でした。(抽選により掲載決定)

広報クイズ

問 両親が留守の間、A男、B子、C太、D美の兄弟4人のうち、誰か1人がおやつを全部食べてしまいました。それぞれの言い分は次のようでした。

- ・A男「食べたのはB子だよ」
- ・B子「食べたのはA男兄ちゃんかC太よ」
- ・C太「A男兄ちゃんと僕は食べていないよ」
- ・D美「わたしは食べてないわよ」

このうち1人だけ嘘をついています。おやつを食べたのは誰でしょうか。

【応募方法】①答え(例：A男)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、フアクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0265  
三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)  
フアクス：☎(34)60008  
電子メール：✉isyokoho@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】5月13日(火)必着

【4月号の正解と当選者】答え：6つ(眼鏡、ギターの形、靴の数、桜の花、カップの数、女の子の手)(全30通正解14通)板木真一、大谷又夫、川原恵治、木村安里沙、近藤怜、佐藤範子、谷真代、伴野圭哉、日比野幸恵、森啓至(敬称略)

お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。

※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。



## 新しい学校生活にドキドキ

### 小学校入学式(黒笹小学校)

町内8小学校で4月7日、入学式が行われました。今年入学した新1年生は787人。黒笹小学校では125人の新入生が、先輩児童や保護者が見守る中、緊張した面持ちで体育館に入場しました。式では、在校生代表の6年生石田夏希<sup>なつき</sup>さんが「みんな協力して楽しい学校生活にしましょう」と温かい言葉を掛けて歓迎。続いて、新入生全員で「お願いします」と元気にあいさつをして、新しい学校生活に向けて目を輝かせていました。



## 平和への願いを込めて

### 戦没者追悼式

戦没者に追悼の誠をささげる「平和の式典」として戦没者追悼式が4月9日、サンアートで開催されました。初めに久野知英<sup>ちひさ</sup>町長が「先輩の英知と努力により築いた三好を、さらに活気のあるまちとするため、努力していきます」と式辞。続いて遺族を代表して吉田邦彦さんが「平和と自由を守り通すために、若き世代にも伝え続けます」と追悼のこトばを述べた後、およそ300人の参列者が平和への願いを込めて献花しました。



## 健康づくりをしながら春を満喫

### 三好町ウォーキング協会総会・ウォーク

三好町ウォーキング協会の総会とウォーキングが4月5日、三好公園で行われました。総会終了後には、およそ40人の参加者が三好池の周りをウォーキング。出会った人とあいさつを交わしたり、見事な桜のアーチを写真に収めたりして、春の三好公園を満喫しました。参加者の一人は「桜がきれいで、この時期に三好池を歩くのは大好きです」と笑顔。6月7日には町制50周年記念の境川縦断ウォーキングを予定しています。



## 地域防災の担い手として

### 三好町消防団任命式

三好町消防団の任命式が4月6日、中央公民館で行われました。およそ180人の団員を前に、久野知英町長が「災害などの一朝有事に備え、訓練に励んでください」と式辞。続いて、山村博美消防団長が各分団長や新入団員などに任命辞令を交付しました。その後、部隊訓練や消防ポンプによる放水訓練、消火器を使った初期消火訓練を実施。新年度に入り、団員たちは訓練を通して消防団活動への意識を新たにしています。



## 満開の桜の下を力走

### 第25回三好池桜マラソン

三好走ろう会の主催で4月6日、毎年恒例の第25回三好池桜マラソンが、三好公園周辺で行われました。今年は町制50周年の記念大会として開催され、町内外より子どもからお年寄りまで総勢2,098人が参加。春の陽気に包まれた絶好のマラソン日和の中、満開の桜の下を力走しました。参加者の一人は、「毎年参加することを楽しみにしています。きれいな桜を見ながら走れて気分爽快でした」と笑顔で汗をぬぐっていました。



## 毎年1回必ず受けましょう

### 狂犬病集合予防注射

ほ乳動物がウイルスにより感染する狂犬病。この病気は発病すると、治療法もなく必ず死んでしまうという恐ろしいものです。その狂犬病の集合予防注射が4月7日から14日まで各地区で実施されました。10日の黒笹公民館では、獣医が手慣れた手付きで小型犬から大型犬まで32匹の犬に予防注射を接種。この日訪れた女性は、「毎年狂犬病の集合予防注射には必ず行っています」と狂犬病の予防に気を使っている様子でした。

